



梯 郁太郎メモリアルコンサート BELIEVE IN MUSIC

電子楽器の開発にかけた夢

2018 **3/2** FRI

北とぴあ さくらホール

東京都北区王子 1丁目 11-1

東京メトロ南北線 王子 5番出口 直結
京浜東北線 王子 北口 徒歩 2分
都電荒川線 王子駅前 徒歩 5分

19:00 開演 18:00 開場

入場料 (前売り/税込み)

¥3,000 全席自由

■ チケットぴあ
0570-02-9999
Pコード 107137



■ イベント告知
<http://www.kakehashi-foundation.jp/>



NAVIGATOR
千住 明

PART 1 ORGAN HISTORY

電子楽器の開発に人生を捧げた梯郁太郎。その梯が音楽をライフワークと決心するきっかけになったのは、大阪のとある教会の1台のオルガンだった。そして電子オルガンへの情熱が、電子楽器の多くの名機を生み出すことになる。トップオルガニストがさまざまなオルガンサウンドで綴る梯郁太郎の半生。



ORGAN
ヘクター・オリベラ



ORGAN
橋 ゆり



ORGAN
佐々木 昭雄

PART 2 MIDI HISTORY

次々と開発する楽器に MIDI を搭載し、その有用性を広く伝えることが提唱者の義務と考えた。斬新な電子楽器は新たな音楽を生み出す「道具」として世界に拡がり、音楽産業を支えた。それまで音楽家の仕事であった「作曲」は DTM によりアマチュアに開放され、ソフト化されたシンセサイザーが全ての PC に搭載することは梯による夢の実現だった。スペシャリストたちが当時の秘話を演奏とともに聞かせる電子楽器のヒストリー。



KEYBOARD
ミッキー吉野



DRUMS
トミー・スナイダー



SYNTHESIZER
松武 秀樹



PERCUSSION
梯 郁夫



KEYBOARD/BAND PRODUCER
篠田 元一

主催：公益財団法人かけはし芸術文化振興財団 <http://www.kakehashi-foundation.jp/>

協力(予定)：一般社団法人 音楽電子事業協会 (AMEI)、楽器メーカー各社、楽器販売店各社、ATV 株式会社、首都圏音楽大学/専門学校 他

後援：一般社団法人 日本作編曲家協会 (JCAA) 企画：トート株式会社

梯 郁太郎メモリアルコンサート BELIEVE IN MUSIC

電子楽器の開発にかけた夢

梯 郁太郎

Ikutaro Kakehashi
1930-2017

1930年、大阪府生まれ。独学で腕時計の構造を学び、47年、16歳でかけはし時計店を起業。その後、54年、カケハシ無線（電器店）を開業。60年、28歳の時に趣味であった電子楽器の製作に本格的に取り組むため、電子楽器製造のエース電子工業株式会社を設立。72年、自ら設立したエース電子工業を退社し、同年にローランド株式会社を設立。83年、電子音楽の世界共通規格MIDI（Musical Instrument Digital Interface）の制定に貢献。長年にわたり電子楽器の発展、普及に努めた多大な功績により、91年、パークリー音楽大学から、名誉博士号を授与。2000年にはハリウッドにあるロック・ウォークに手形を残し殿堂入りした。13年には、楽器・映像機器メーカーATV株式会社を新たに設立。同年、個人としては日本人初の受賞となるテクニカル・グラミー・アワードを受賞した。15年、ATVとして最初の製品エレクトロニックドラム「aD5」を発表。また、16年には、エレクトロオーガニック・パーカッション「aFrame」を発表。2017年4月1日に心不全のため亡くなるまで、つねに革新的な楽器を世に送り出し続けた。



ナビゲーター

千住 明

Akira Senju 作曲家

1960年東京生まれ。東京藝術大学作曲科卒業。同大学院首席修了。代表作にピアノ協奏曲「宿命」（ドラマ「砂の器」劇中テーマ曲）、オペラ「万葉集」「滝の白糸」「カレンダー組曲」等。ドラマ「ほんまもん」「嵐山火災」、映画「黄泉がえり」「涙そうそう」「追憶」、アニメ「機動戦士Vガンダム」「鋼の錬金術師FAI」、NHK「日本映像の20世紀」「ループル 永遠の美」、TV「アイアンシェフ」、CM「アサヒ スーパードライ」、ウィーン美術史美術館&TBS公式テーマ曲「Glorious Museum」等、音楽担当作品は数多い。受賞歴多数。メディアへの出演も多く、NHK「日曜美術館」のキャスターもつとめた。東京藝術大学特任教授。 URL: <http://www.akirasenju.com>

PART 1 〈ORGAN HISTORY〉



ヘクター・オリベラ

Hector Olivera オルガニスト

アルゼンチン生まれ。アメリカ国籍。3歳でパイプ・オルガンを始め、12歳にしてブエノスアイレス大学に最年少学生として入学。1965年にジュリアード音楽院の奨学生としてニューヨークへ渡る。その後カーネギー・ホールをはじめ、アメリカ国内はもとよりヨーロッパ、オーストラリア、日本など、世界中で演奏経験を持つ。パイプ・オルガンだけでなく、日本の電子オルガンの演奏も精力的に行い、クラシックからジャズ、ポピュラーまで、幅広いジャンルを完璧に弾きこなすオルガニストとして、高い評価を得ている。ヘクター・オリベラ氏のホームページ：<http://www.hectorolivera.com/>（英語）



橘 ゆり

Yuri Tachibana 作曲作曲家/オルガニスト

前橋市出身。オルガンコンクールで全国優勝後、TV番組「11PM」にて4年間ハモンド演奏。コロムビアレコードから「トロピカル・サイクロン」「マジカル・アイズ」、キングレコードから「Organ Chat」シリーズ4枚をリリース。2009年「第4回 日中韓 観光大臣会合」にてオルガンコンサート。2011年、富田勲氏作曲による「源氏物語幻想交響絵巻」の編曲と演奏を手がける。2013年「飛鳥II オセアニアグランドクルーズ」船上コンサート。演奏活動は米国、欧州各国、中国、東南アジア、ブラジルに及ぶ。多数の執筆やレコーディングアレンジャーとしても活動中。



佐々木 昭雄

Akio Sasaki ジャズ・オルガン奏者

1950年東京都出身。ヤマハ音楽院を卒業後、エレクトーンプレイヤーとして国内にとどまらず海外での演奏を多数経験する。その後ヤマハを退職し、76年、ボストンのパークリー音楽大学に留学、79年同大学を首席で卒業する。80年よりジャズ・アレンジを多く手がける。全国各地でのコンサート及び定例ライブ、公開講座を実施する。またオルガン指導にも力を入れており、数々のアレンジ集、理論書、教則本の出版をする。JAZZ ORGANの普及・そして日本を代表するJAZZ ORGAN PLAYERとして演奏活動を続けている。

PART 2 〈MIDI HISTORY〉



ミッキー吉野

Mickie Yoshino 作曲作曲家/キーボーティスト

1951年生まれ。横浜市出身。中学時代からバンド活動を始め、68～70年グループサウンズ「ザ・ゴールデン・カップス」で活躍。71年米国パークリー音楽大学に留学。76年タケカワユキヒデアと「ゴダイゴ」を結成、「ガンダーラ」などのヒット曲を出す。休止後、音楽プロデューサー、映画音楽など精力的な活動を展開。映画「スウィングガールズ」(04年)の主題曲で日本アカデミー賞最優秀音楽賞、日本レコード大賞企画賞を受賞。著書に「ミッキー吉野の人生(たび)の友だち」がある。



トミー・スナイダー

Tommy Snyder 音楽家

1952年マサチューセッツ州生まれ。7歳でドラムを始め、TOTOのボーカリストの父ジョー・ボーカローらに学び、12歳頃にはクラブでドラムを叩く。69年バンド活動をスタート。「オーフィアス」「スピリット・イン・フレッシュ」などに在籍。その後、在米中のミッキー吉野に誘われ来日し77年にゴダイゴに参加。多くのソロアルバムも発表。解散後はCMソング制作や、クワタ・バンドの英語詞や大野雄二の「ルパン三世」での歌唱などコラボ活動で話題になる。現在はパリを本拠に、アメリカ、日本で活動。最近では音楽学校の指導者として、また復活したゴダイゴの全国ライブで活動中。



松武 秀樹

Hideki Matsutake シンセサイザー・プログラマー

富田勲に師事しモーグ・シンセサイザーによる音楽制作を経験。イエロー・マジック・オーケストラにプログラマーとして参加し、レコーディングや世界ツアーに帯同する他、CM音楽、イージー・リスニング、ポップス、ロック、歌謡曲、TV/映画サントラ、キッズ音楽などジャンルを超え、数々のレコーディングに関わる。自身のユニットLogic Systemを大勢の作品を発表し、国内外で高い評価を得ている。2017年、第20回文化庁メディア芸術祭「功労賞」を受賞。



梯 郁夫

Ikuro Kakehashi 打楽器奏者

民族音楽から現代音楽、ポップミュージックとジャンルを越えたパーカッショニストとして、数々のコンサート、スタジオワークに参加。あらゆる分野のアーティスト、舞台、映画音楽からTV、CM音楽などに関わってきた。特にレコーディングに於ける斬新かつ的確なアプローチには、多くの作曲家が厚い信頼を置いている。



矢堀 孝一

Koichi Yabori
Guitar
92年ジャズグループ「FRAGILE」結成。96年1st

アルバム以来、12枚をリリース。さらに最新作「You were there」に至る5枚のソロアルバムを発表。執筆/プロデューサー活動の他、2015年「ジャズギターの聖地」を目指しVirtuoso AKASAKAを開店。若手ミュージシャンのサポートにも力を注いでいる。



山本 真央樹

Maoki Yamamoto
Drums
92年生まれ。幼い頃からロック、フュージョン、ジャズ

に興味を持ち独学でドラムを始める。中学～高校で吹奏楽を経験、パーカッション全般を学び多数のコンクールで金賞獲得。2011年パークリー音楽大学に奨学生として入学。帰国後は様々なアーティストのサポート、楽曲提供など活動を拡げる。



小栢 伸五

Shingo Ogaya
Bass
93年生まれ。幼少期からピアノ、ギターに触れ、14

歳でベースを始めライブ活動開始。音楽学校メーサーハウスに入学。エレキベースを大野淳一、櫻井哲夫、ウッドベースを佐藤慎一に師事。新進気鋭のフュージョンバンドDEZOLVEを中心に様々なライブやスタジオワークなど幅広く活動中。



keyboard / band producer

篠田 元一

Motokazu Shinoda 作曲作曲家/キーボーティスト

ピアノ、キーボードを笹路正徳氏に師事。学生時代から幅広いジャンルの作曲を手掛ける。これまでに3枚のソロ・アルバムを発表。精力的なライブ活動の他、名門オーケストラとの共演多数。富田勲「源氏物語幻想交響絵巻」「イーハトーヴ交響曲」の国内外公演やレコーディングに参加。歴史的な音楽イベントThink MIDI 2015およびオーケストラとシンセの融合をテーマにしたThe Brand-New Concert 2017では音楽プロデューサーを務める。『実践コード・ワーク』をはじめとするベスト/ロング・セラーを含む40冊を超える音楽書を執筆。音楽制作会社モトミュージック主宰。